

橋梁諸元(現在)

路線: 国道1号
 所在地: 静岡市清水区由比北田
 橋種: 単純PCポストテンション方式T桁橋
 橋長: 30m(1径間)
 幅員: 7.4m(上り線), 8.0m(下り線)
 竣工: 1971年(上り線は43年経過), 1978年(下り線は36年経過)
 交通量: 52,201台/日 大型車混入率31.5%(H22センサス)



工事概要

連結したT桁のうち最も海側の桁では径間中央部付近に多くのひび割れを確認しており、安心して安全に道路を通行していただくため、**和瀬川橋の架け替えを行います。**

和瀬川橋(現在)の損傷状況
 海が近く塩害により桁のコンクリートにひび割れや剥離が生じています。(写真は損傷の進行を抑えるための表面被覆補修前の状況)

【新橋での対策①】 錆びにくい材料の採用
 新しい橋では、錆びに強いエポキシ樹脂が塗装された鉄筋とPC鋼より線を採用します。これにより、コンクリート内部に浸入してくる塩分から鉄筋を守ります。

拡大

エポキシ樹脂塗装鉄筋の採用例

【新橋での対策②】 鉄筋かぶりを厚くする対応
 新しい橋では、鉄筋のコンクリート表面からの位置(鉄筋のかぶり)を、標準的なものよりも内側に配置することで、外部から浸入する塩分が到達する時間を遅らせます。

拡大図

新しい主桁の形状

鉄筋かぶりを厚く確保

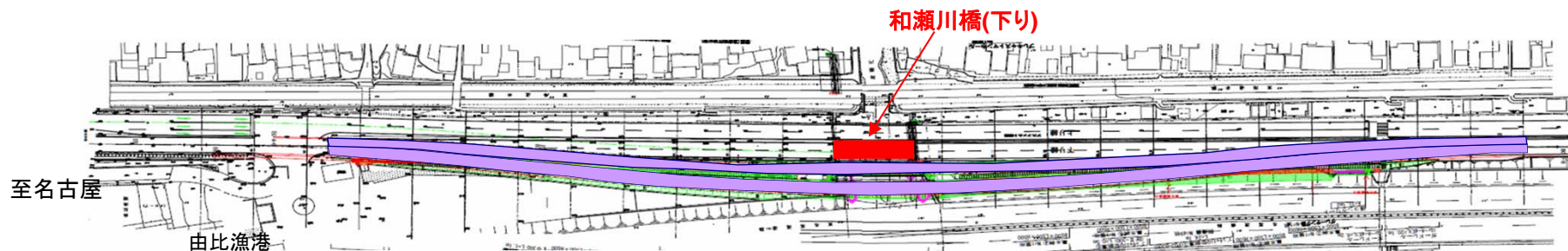
【新橋での対策③】 表面積を減らす
 新しい橋では、外気にふれる表面積を小さくすることで、塩害リスクの低減を図ります。

これまでのT桁を採用していたため表面積(赤線)が大きかった

T桁橋断面図

架け替え後の新橋では箱桁を採用するため、表面積が小さくなる

箱桁橋断面図



○現状

和瀬川橋下り線の架け替えを行うために、海側に下り車線の迂回道路が建設され、9月下旬から交通が切り換えられています。

※7月に迂回路の建設について、第1回の研修を行いました。

○これからの工事内容

- ・和瀬川橋下り線の古い橋桁を撤去します。**※今回、この旧橋撤去について、第2回の研修を行います。**
- ・年内に、橋台の補強を行います。
- ・年明けに、新しい橋桁を架設します。**※新しい橋桁の架設についても、研修を予定しています。**
- ・新年度に和瀬川橋上り線の掛け替えを行う予定です。

上り線の架け替えに際しても通行形態がかわりますので、時期が近づきましたら、またお知らせします。